

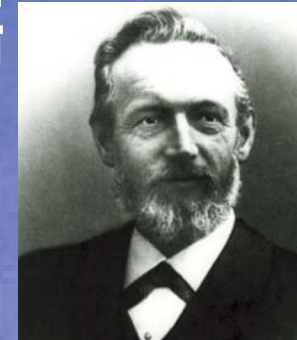
【ビクトリノックス物語】

VICTORINOX

グレートブランド物語

Great Brand Story

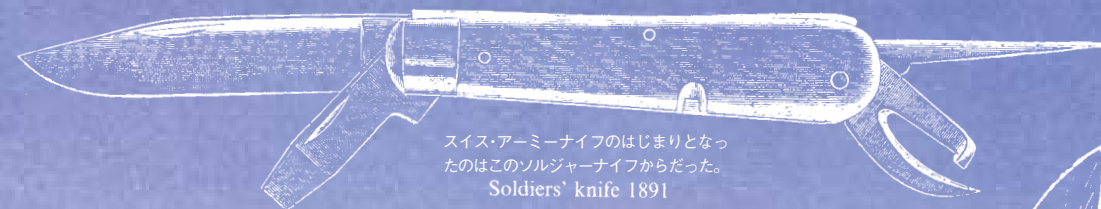
第12回：文と構成 / 河村喜代子



ビクトリノックスの創業者であるカール・エルズナー。24歳で独立し刃物職人になる。

ナイフは、人類が最初に手にした道具だったという説があるほど、人が生き延びるために不可欠な道具である。それがポケットナイフになった先に多用に展開する道が広がった。フォールディングナイフにマルチツールとしての道を進ませたビクトリノックス。そう断言したくなる存在感を示すのは赤いハンドルと白いクロスアンドシールドだ。

ビクトリノックスはナイフメーカーとして始まった。創業は1884年で今年125周年という節目の年を迎えている。創業者はカール・エルズナーという人物で、現在のビクトリノックス代表も同名である。つまり創業者一家が会社を守りつづけている。会社の場所も動いていない。スイス中央部のシュビッツ州イパッハにある。スイスという国名はシュビッツに由来するという。イパッハはチューリッヒからだと南へ約50kmほどの地点にある。

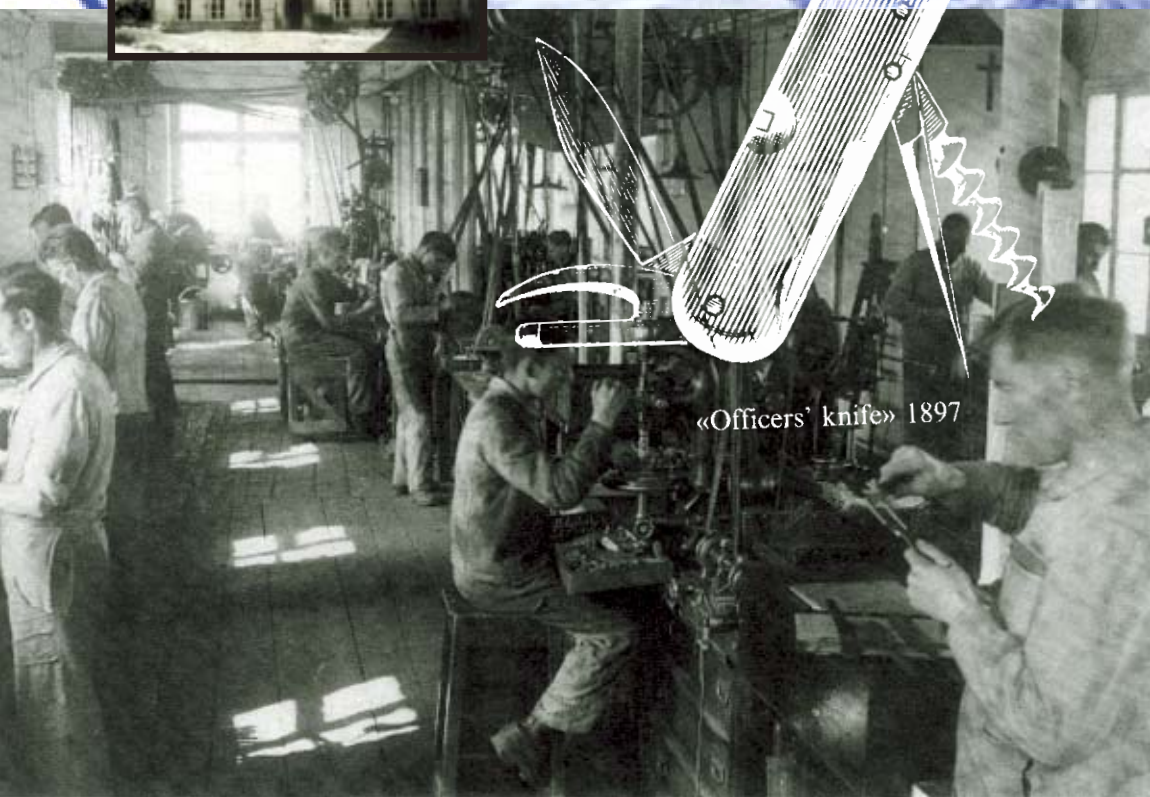


スイス・アーミーナイフのはじまりとなったのはこのソルジャーナイフからだった。Soldiers' knife 1891

遍歴してナイフ職人としての技術を学び、1884年に故郷に戻って工房を開く。カール・エルズナー刃物製作所となった4階建ての建物の写真が残されている。そこはトールバツハ川からの水力を利用して建てられた元製粉工場だったというから、刃物づくりをする条件がそろっていたことになる。焼き入れ、焼き戻しには多量の水を使うし、研磨にはグラインドを回す動力が必要だったからだ。それから7年後に飛躍する年を迎える。1891年10月に、スイス陸軍にはじめてソルジャーナイフを納入したのだ。1897年にはオフイサーナイフの特許を取得している。ソルジャーナイフはメインブレード



スイス中部のルツェルン湖を抱えたシュビッツで最初の刃物工房を開いた。建物は元製粉所だった。



「Officers' knife」1897

にドライバー、カン切り、穴開けの構成だが、その機能にさらにもう一枚スモールブレードとコルクのせん抜きを加えられて合計6本のツールを備えていたのがオフイサーナイフだった。機能を増やしてもそれを出し入れするためのバネは2個にとどめ軽量化を計った。それだけでなくハンドルを滑りにくい材料に変えて道具としての完成度を高めていた。

認められた道具には、必ずまねをする者が現れる。オフイサーナイフは特許を取得していたが、それだけでは模倣者を防ぐわけにはならなかった。ドイツ製品の攻勢を受けた。競争を生き抜く鍵はいつの時代も道具のクオリティだけだ。出した答えはノコギリとハサミ。機能を強化し、道具の可能性を開いただけではなかった。時代が提供する新素材にも目配りしていた。ステンレススチールが実用化されると早速調達している。ちなみにビクトリノックスとは、創業者エルズナーの母親のクリスチャンネーム「ビクトリア」とスチールを意味する「イノックス」から来ている。それが1921年だった。

Messers- & Werkzeugfabrik Karl Elsener, Ibach-Schwyz Fabrique de coutellerie

Offiziers- und Sportmesser mit Schild (Schweizerwappen) Gesetzlich geschützt.

Couteaux d'officiers et de sport avec l'écusson fédéral. Modèle déposé.

Nr. 205. Mit Schild / Prix sans bélière frs. 5.00 per Stück

Nr. 240. Sogenanntes „Cure-pied“ / Messer mit roten Fiberschaln, 9 cm lang, 7-teilig

Nr. 241. Studentenmesser mit roten Fiberschaln, 8 1/2 cm lang, 2-teilig

20世紀初頭のビクトリノックスの製品カタログ。カン切り、せん抜き、コルクせん抜き、ドライバーなどすでに現在と変わらないマルチツールモデルがそろっている。一方、社名とロゴマークもバリエーションが多かったことがわかる。



100年を超す時間のなかで有名無名を問わず個人や組織から、ビクトリノックスにまつわる逸話や体験談が寄せられ、雑誌の記事になったり他企業の広告にさえ使われてきた。ビクトリノックスの多機能というブランドイメージは都市伝説にさえなった。



財布のサイズに近いスイスカードはクレジットカードとほぼ同じサイズ(82×54×4mm)。一枚のカード型パッケージに7種で10機能を果たすツールが収まっている。現行品は価格3150円~4200円



これは1980年代のビクトリノックスの工場のようなものである。ナイフをつくる工程はあらゆる場面で機械化が進んでいるとはいえず、研磨工程には職人が目を注ぐ必要がある。



スイスツールの基本タイプ。ナイフ、ドライバーなど25通りに働く。先頭のブライヤー部分とエンド部のナイフ類を収納した状態にすれば、ハンドル部の長さ11.5cmとコンパクトですっきりしたかたちになる。価格1万3650円



クロスアンドシールドの商標とビクトリノックスのブランド名が定まったのは1909年のことだった。

どれほど便利な時代になろうと変わらぬことがある。ビクトリノックスのマルチツールの存在意義はそこにある。

トラベラー
ハンドル長さ91mmのトラベラーには1) ラージブレード、2) スモールブレード、3) コルクせん抜き、4) カン切り、5&6) マイナスドライバー(大と小)、7) はさみ、8) せん抜き、9) ワイヤーストリッパー、10) 穴あけ、11) キーリング、12) ピンセット、13) ツースピック、14) マルチフック、15) ソーイングアイの機能が収まっている。価格5040円

現在、都市生活をおくっている実感では、ナイフを必要とする場面はそう多くはないように思われる。道具があつてあたりまえなのが、ふだんの生活だからだ。ナイフが果たす仕事は、それより先に処理されているか、別の道具で解決されてもいる。ところが自分自身の話をさせてもらえば、キーリングにビクトリノックスの一番小さいモデルであるクラシックを付けている。これがしばしば役に立つのだ。

自分だけではなく、人の役に立っている。これを持っていることを知っている知人たちは、爪が気になるとヤスリを使いたがったり、服のナイロントグを切りたいときなどは「ビクトリ貸して」と結構あてにされている。使う頻度でいえばハサミを引き出す回数が一番多い。手のなかに隠れてしまふ58mmのツールを身に帯びていることは、たしなみときえ内心では思っている。さらに不思議なのは安心感につながる部分があることだ。

これがアウトドアに行けば、マルチツールは必需品だ。ビクトリノックスには最大ツール数を誇るスイスチャンプがあり、33種類の機能を持つ。それがすべてハンドル部分、持ち手のなかに収められている。こうなるとどこから何が出るのかマジックだ。道具はそこにあつてこそだ。使いたいとき、その場にあることに価値がある。ハンドルという簡潔なパッケージに機能を集約させたマルチツールは、そのための簡潔でスマートな答えである。





インファントリー・ビンテージ・ジュビリーエディション。クォーツムーブメント、1/10秒、60秒、30分計表示のクロノグラフ機能とテレメータ機能を搭載。100m防水。価格11万5500円
 レザートラベルバッグ・リミテッドエディション。世界125個、日本国内5個限定。サイズ52.1×37.5×19.1 (cm)、成牛一枚革のフルブレインレザー使用。今夏発売予定。価格52万5000円



キッチンナイフ・アニバーサリーエディション。国内125本限定。上)シェフナイフ・エポニーハンドル。ブレード長さ22cm。価格1万5000円。中)シェフナイフ。ブレード長さ19cm。価格5040円。下)三徳包丁。ブレード長さ17cm。価格5040円 中、下のハンドルは滑りにくく手になじむポリアミド樹脂のフィブロックス製。

125 YEARS YOUR COMPANION FOR LIFE

大きな節目を迎える本年は、各カテゴリーでアニバーサリー限定商品を発売する。目印は“125 Years - Your Companion for Life”。

クラシックホワイトシャツ。スイス製のコットン素材を使いシリアルナンバー入りの世界限定125枚。2009年6月発売予定。価格4万5000円

トラベラー・アニバーサリーエディション。15機能を備えるマルチツール。国内125本限定販売。価格5040円

©ビクトリノックス・ジャパン ☎03-3796-0951
<http://www.victorinox.co.jp>

スイス・アーミーナイフと自身では呼んだことがない謎とは何。

1884年から125年目にあたる今年、その数字にちなんだ限定数でここに紹介するアイテムをはじめとした記念モデルを4月から順次発売している。マルチツール、キッチンウェア、アパレル、トラベル&ビジネスギア、時計などであり、ビクトリノックスはすでにアーミーナイフだけでなくさまざまなライフスタイルブランドになっていることがわかる。ところがそのアーミーナイフという名前だが、ビクトリノックスの資料をいくらかひっくり返してもスイス・アーミーナイフという名前は、第2次大戦時代以後にアメリカ軍のピーエックスの売店が多徳ナイフが販売され、それらの多くがビクトリノックス製だったことから通称されるようになったのだ。

製品にはスイスクロスが入っており、そこから多徳ナイフとスイスは分かちがたく結びつくことになったのだ。



VICTORINOX

モビライザー-NXT 4.0。持ち手の高さを3段階に調節できる。本体は摩擦に強い2100デニールのナイロンを使用。左)モビライザー-27はマチ幅を拡張できる。サイズ55×75×34-38 (cm)、価格6万9300円 右)モビライザー-24はマチ幅を拡張できる。サイズ46×68×29-33 (cm)、価格6万3000円 外付けしているのは同じくNXTシリーズのビューティケース。サイズ32×28×23 (cm)、価格2万2050円 下)モビライザー-22。サイズ38×63×26-30 (cm)、価格5万7750円



参考品

クロノクラシック XLS MT。クォーツ、クロノグラフ機能、カレンダー表示(英・仏・独・西で曜日表示)、第二時間帯表示、アラーム、ブラックアイスPDV SSケース×プレスレット、ケース径40mm、10気圧防水。価格13万6500円

